

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月11日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 大
 コード番号 9903 URL <http://www.kanseki.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 静夫
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 高橋 利明 (TEL) 028-659-3112
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	7,558	△1.5	243	△26.9	156	△38.0	108	△31.6
25年2月期第1四半期	7,674	△2.9	332	△35.0	252	△42.4	159	△26.1

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 140百万円(△10.8%) 25年2月期第1四半期 157百万円(△22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	7.35	—
25年2月期第1四半期	10.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	27,261	5,051	18.5
25年2月期	25,741	4,963	19.3

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 5,051百万円 25年2月期 4,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	3.50	3.50
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	1.50	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,208	3.7	720	△6.6	546	△3.2	297	△9.6	20.06
通期	31,140	4.0	1,020	6.1	670	14.1	360	7.1	24.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期1Q	16,100,000株	25年2月期	16,100,000株
26年2月期1Q	1,296,766株	25年2月期	1,295,800株
26年2月期1Q	14,803,822株	25年2月期1Q	14,804,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日)におけるわが国経済は、政府の金融政策や各種経済対策効果への期待感から、国内需要の底堅さが徐々に増しつつあるものの、消費者マインドの大幅な改善までには至っておらず、個人消費回復のスピードは極めて緩やかな状態にあるものと考えられます。このような状況のもと、当社グループは3月から4月にかけて、アウトドアライフ専門店「WILD-1」を2店舗、リユース事業の「オフハウス」を1店舗、計3店舗を新規出店することで業容の拡大に努めました。

営業面においては、春先の低温などの天候要因によって、園芸・衣料等春物季節商品の動きが鈍かったことなどから、既存店における売上高の確保が今一步の状況が続きました。また経費面においては、3店舗の新規出店に伴う開店イニシャルコストの発生により、人件費、広告宣伝費、消耗品費などが増加いたしました。

これらの結果、売上高は75億58百万円(前年同四半期比1.5%減)、営業利益は2億43百万円(前年同四半期比26.9%減)、経常利益は1億56百万円(前年同四半期比38.0%減)、特別損失に投資有価証券評価損6百万円を計上し、その結果、四半期純利益は1億8百万円(前年同四半期比31.6%減)となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業につきましては、バーベキュー用品や自転車などのレジャー関連商品が前年を上回り好調に推移したものの、震災に関わる需要が落ち着いたことによる資材関連商品の売上減少に加え、春先からの低温による影響で園芸用品などの季節商品の販売が伸び悩みました。

これらの結果、営業収益は47億69百万円(前年同四半期比4.3%減)、セグメント利益は2億28百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業につきましては、春先の低温の影響で春物商品の動き出しが遅れたものの、キャンプ用品やトレッキングシューズなどの販売に底堅さがみられました。また、3月に17店舗目となるWILD-1イオンモールつくば店(茨城県つくば市)、4月には18店舗目となるWILD-1デックス東京ビーチ店(東京都港区)を出店いたしました。開店後、両店ともに順調に推移しております。

これらの結果、前年との比較においては、新規店舗2店舗の出店による開店イニシャルコストなどの経費面への影響があり、営業収益は15億80百万円(前年同四半期比6.6%増)、セグメント利益は82百万円(前年同四半期比30.4%減)となりました。

[専門店事業]

専門店事業につきましては、オフハウス店舗において、メンズ・レディース衣料などが売上を牽引するとともに、ゴールデンウィーク期間中のブランドバッグ、腕時計および宝飾品などの販売企画が好調だったことなどもあり、業績は概ね計画通りに推移いたしました。また、3月に9店舗目となるオフハウスさくら氏家店(栃木県さくら市)を出店いたしました。開店後、業績は順調に推移しております。業務スーパー店舗においては、仕入商品の値上げや物流コスト上昇など厳しい環境のもと、新規顧客開拓のためのポスティング等、業務需要掘り起こしのための企画を実施いたしました。

また、専門店事業における店舗数は、前年と比較して、オフハウス店舗が出店により1店舗増加して

おりますが、飲食店舗が1店舗減少していることから合計店舗数における増減はなく、売上高の増加は微増にとどまる一方で、新規店舗出店に伴う開店イニシャルコストが発生いたしました。

これらの結果、営業収益は13億2百万円(前年同四半期比0.1%増)、セグメント利益は64百万円(前年同四半期比17.1%減)となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、計画通り安定した利益をあげております。

店舗開発事業における営業収益は1億94百万円(前年同四半期比4.4%減)、セグメント利益は40百万円(前年同四半期比12.1%減)となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、272億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億19百万円の増加となりました。主な要因としては、敷金及び保証金の返還による減少36百万円の減少要因に対し、現金及び預金の増加4億40百万円、クレジット売上増に伴う売掛金の増加87百万円、夏物商材の仕入による商品の増加8億9百万円及び新規出店店舗の設備投資等による有形固定資産の増加1億50百万円の増加要因によるものであります。

負債は、222億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億31百万円の増加となりました。主な要因としては、短期借入金の減少12億88百万円及び法人税等の納付による未払法人税等の減少72百万円の減少要因に対し、支払手形及び買掛金の増加11億53百万円、賞与引当金の計上62百万円及び長期借入金の増加15億28百万円の増加要因によるものであります。

純資産は、50億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払51百万円の減少要因に対し、株式の市場価格の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加31百万円及び当第1四半期連結累計期間において四半期純利益1億8百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は18.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	661,948	1,101,992
売掛金	185,352	272,795
商品	4,649,831	5,459,252
その他	612,735	652,991
貸倒引当金	△2,574	△667
流動資産合計	6,107,293	7,486,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,847,103	4,040,533
土地	11,772,945	11,772,945
その他(純額)	319,344	276,422
有形固定資産合計	15,939,394	16,089,901
無形固定資産		
	677,837	687,833
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,372,670	2,335,707
その他	644,033	661,343
貸倒引当金	△77	△6
投資その他の資産合計	3,016,626	2,997,043
固定資産合計	19,633,857	19,774,778
資産合計	25,741,150	27,261,143
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,948,356	4,101,606
短期借入金	7,928,022	6,639,763
未払法人税等	126,031	53,805
賞与引当金	—	62,500
ポイント引当金	182,450	172,669
その他	642,804	674,233
流動負債合計	11,827,663	11,704,577
固定負債		
長期借入金	7,162,938	8,691,680
退職給付引当金	691,063	700,992
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	83,597	114,695
長期預り敷金保証金	518,274	509,951
その他	465,789	459,132
固定負債合計	8,950,002	10,504,791
負債合計	20,777,666	22,209,368

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,338,976	1,396,013
自己株式	△232,317	△232,470
株主資本合計	4,896,658	4,953,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,826	98,231
その他の包括利益累計額合計	66,826	98,231
純資産合計	4,963,484	5,051,774
負債純資産合計	25,741,150	27,261,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	7,674,989	7,558,415
売上原価	5,477,946	5,384,118
売上総利益	2,197,043	2,174,297
営業収入	301,140	294,720
営業総利益	2,498,184	2,469,018
販売費及び一般管理費	2,165,468	2,225,662
営業利益	332,716	243,355
営業外収益		
受取利息	201	278
受取配当金	809	868
受取保険金	10,001	872
その他	3,000	770
営業外収益合計	14,013	2,790
営業外費用		
支払利息	93,277	88,910
その他	633	528
営業外費用合計	93,911	89,439
経常利益	252,818	156,706
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,189
特別利益合計	—	1,189
特別損失		
固定資産除売却損	5,632	—
賃貸借契約解約損	—	15
投資有価証券評価損	3,508	6,364
特別損失合計	9,141	6,379
税金等調整前四半期純利益	243,676	151,516
法人税、住民税及び事業税	79,537	42,729
法人税等調整額	4,997	△65
法人税等合計	84,535	42,663
少数株主損益調整前四半期純利益	159,141	108,852
四半期純利益	159,141	108,852

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	159,141	108,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,918	31,405
その他の包括利益合計	△1,918	31,405
四半期包括利益	157,223	140,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,223	140,257

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	4,982,932	1,482,801	1,300,806	202,983	7,969,523	6,606	7,976,130	—	7,976,130
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	3,267	3,267	16,350	19,617	△19,617	—
計	4,982,932	1,482,801	1,300,806	206,250	7,972,790	22,956	7,995,747	△19,617	7,976,130
セグメント利益	253,969	118,711	77,635	46,493	496,810	2,445	499,255	△166,539	332,716

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△166,539千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,539千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	4,769,688	1,580,125	1,302,356	194,132	7,846,302	6,833	7,853,136	—	7,853,136
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	3,267	3,267	16,350	19,617	△19,617	—
計	4,769,688	1,580,125	1,302,356	197,399	7,849,569	23,183	7,872,753	△19,617	7,853,136
セグメント利益	228,376	82,635	64,334	40,870	416,218	5,577	421,795	△178,440	243,355

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△178,440千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△178,440千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。